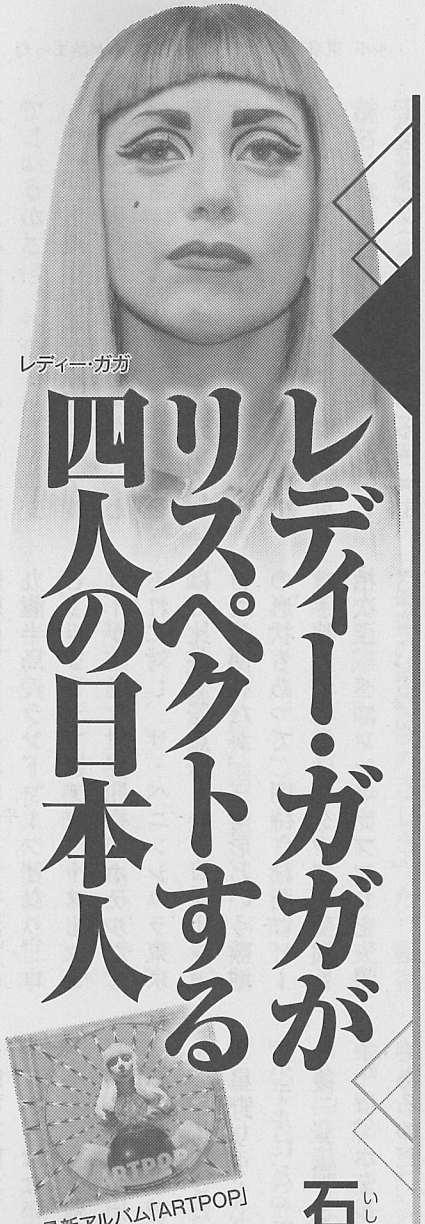

レディー・ガガ

レディー・ガガがリスペクトする四人の日本人

石井謙一郎（いしいけんいちろう）
ジャーナリスト

「世界の歌姫」が見出した若き才能に日本のものづくりの精神が生きていた

最新アルバム「ARTPOP」

レディー・ガガが二年ぶりに来日し、二日連続（八月十三日～十四日）でライブを行なう。世界二十三カ国を回るツアーの一環だ。

「世界の歌姫」といえば、かつてはマドンナやホイットニー・ヒューストンらの代名詞だったが、いまはレディー・ガガがその称号をほしいままにしている。アルバムセールスは、全世界で二千六百万枚以上。グラミー賞などの音楽賞も総ナメで、YouTubeの再生回数は十億回を超え、ツイッターのフォロワー数も世界のトップを争う。

日本での単独公演は三回目で、来日は八回目だ。二〇一一年の東日本大震災では、発生当日から「WE PRAY FOR JAPAN（日本のために祈りを）」と書いたリストバンドを一本五ドルで販売。全収益一億二千万円あまりを寄付し、個人としても同じ金額を寄付した。

原発事故を受けて多くの海外アーティストが来日を取り止める中、六月の復興支援イベントのため来日したことは大きな話題になった。ガガは「日本の安全性を証明する。この美しい日本に、たくさんの人に旅行に来てほしいわ」と涙ぐみながらコメントした。日本を離れる際、菅直人総理（当時）から贈られた花束には、「深く感謝します。あなたのリトルモンスター　菅直人より」というメッセージが添えられていた。

ガガはファンを「リトルモンスター」と呼んで、非常に大切にする。また、同性愛者への差別撤廃やいじめ撲滅などの社会運動にも尽力。〇九年十月、同性愛者の権利擁護団体が主催した晩餐会で、この前の日にノーベル平和賞を受賞したばかりのオバマ大統領は、こう挨拶した。

「レディー・ガガの前座として、今夜ここにいられることを名誉に思います」

ガガがマイノリティー支援に熱心な背景には、下積み時代の苦労と並んで、十代の頃に自身がいじめを受けた体験があるといわれている。

着替えは一日に十二回

ガガはニューヨーク育ちのイタリア系アメリカ人で、本名はステファニー・ジョアン・アンジェリーナ・ジャーマノッタ。一九八六年三月生まれの、弱冠二十八歳。二〇〇八年のデビューからまだ六年しか経っていない。

音楽ライターの新谷洋子氏は、ガガにインタビューした経験をもつ数少ない日本人だ。日本デビュー前の〇九年三月、場所はLA公演の会場に向かうツアーバスの中だった。インタビュアーとして指名を受け、日本から渡航して、与えられた時間は三十分だった。

新谷氏はそのときの印象を、

「新人アーティストで、ガガのように自分のビジョンを明確に説明できる人はほかに会ったことがありません。いわゆる〝メディアトレーニング〟を受けた人たちも饒舌に話しますが、彼らの言葉はえてして型にはまっている。その点ガガは、自分の言葉で話すことができる人でした」

と語る。そのときガガは、

「飛び級で入学したニューヨーク大学芸術学部を中退して、家を出て、一人で道を切り拓いて生きていこうと決心したときが、自分の転機」

と語ったという。裕福だった家庭を出たあと、ストリップクラブのダンサーとして生計を立てながら、音楽業界に売り込みを続けた。歌手デビュー前に、ソングライターとしてレコード会社と契約。ブリトニー・スピアーズなどに楽曲を提供して頭角を現した。その後の自分の楽曲も、すべて自作だ。

「オーディション番組やネットの世界から突然出てきたのではなく、地道なライブ活動からチャンスをつかんだのです。周りのプロデューサー任せにしているアーティストも多いなか、彼女はライブの演出などすべてに百%かかわって、自分の美学を貫いています」（新谷氏）

音楽性と共にいつも話題をさらう

のが、ガガのメイクやファッションだ。たびたび物議を醸すファッションも、自分自身で決めている。

カエルのキャラクター「カーミット」を無数にぶら下げたドレスや、シャボン玉を一面に張り付けたようなドレスを着たり（写真下）、頭上に電話機やクリスマスツリーを乗せてみたり。生の牛肉で作ったドレスは、動物愛護団体から批判を受けたことで話題になった。ガガの言葉を借りれば、

「私はいつも、ユーモアがにじみ出るような洋服を選ぶようにしているのよ。セクシーさとか、魅力的になることを求めているのじゃなくて、ユーモアと、それを楽しむことが重要なの」（『FRIDAY』二〇一一年八月十九・二十六日号）

世間の注目を集めるためではなく、これがありのままの私なのだとことあるごとに語るガガは、「一日に十二回着替えをする」という伝説をもつ。ヴェルサーチなどトップブランドの服を纏うと同時に、日本の若手デザイナーの作品を好んで身につけることが知られている。

アヴァンギャルドな〝花魁〟

「NORITAKA TATEHANA」を主宰するデザイナー・舘鼻則孝氏（29）は一九八五年生まれ。二〇一〇年三月、東京芸術大学美術学部工芸科の学生だった舘鼻氏は、卒業制作で作った靴の写真に自身のプロフィールを添え、世界中のブランドや雑誌社に売り込みのメールを百通以上送った。踵のない、高さ二十センチもある厚底シューズ。モチーフは、江戸時代の花魁が履いていたぽっくり下駄だ（写真左頁）。

無名の若き日本人が作った靴の斬新なデザインに反応した返信メールは三通。そのひとつが、ガガの専属スタイリストを務めていたニコラ・フォルミケッティ氏からだった。ニコラはイタリア人と日本人のハーフで、沼津育ち。ガガ自身、「日本のカルチャーやファッションに興味をもつようになったきっかけは、ニコラの存在」と認める間柄だった。

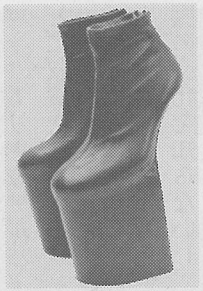
舘鼻氏が言う。

「大学ではまったく評価されなかった自分の作品を初めて履いてくれたお客さんが、ガガでした。ちょうど一週間後に来日して『ミュージックステーション』に出演する予定だったので、日本の若手ブランドを探していたそうです。すぐに新しい靴を作るようオーダーがきました」

テレビに映ったガガは、舘鼻氏の〝花魁シューズ〟を履いていた。大学を卒業して、翌月のことだった。以来ガガのために、舘鼻氏は二年間ほぼ毎月、二十五足を作り続けた。

「要求はたいてい、『サムシング・クレージー』。つまり、『言わなくてもわかってると思うけど、見たことのないものを作って欲しい』（笑）。高さ五十センチのバレエシューズを作ったこともありました。

納期もクレージーでした。担当者から電話があって、『いま撮影中なんだけど、ガガがこの靴をすごく気に入ったから、色違いを作ってすぐ送ってくれない？』。大変でしたけど、やりがいはありましたね」



航空便で送る時間を考えれば、二～三日徹夜で仕上げることもざらだった。靴はすべてオーダーメイドだ。

「人形作りの講師をしていた母から、欲しいものは自分で作れと教えられたんです。以来、十五歳から服や靴、鞄を制作し、高校生の時にはデザイナーを志していました。本格的にファッションの勉強をしようと、パリやニューヨークへの留学も考えましたが、『まず日本のファッションを勉強してから海外へ出よう』と思った。そこで東京芸大で染織を専攻することに決めたんです」

大学では、友禅染の技法や着物作りを学んだ。また「日本らしさ」を追究するため、敢えて外国で出版された日本に関する書籍を研究した。

「日本人は西本願寺が好きでも、外国人は桂離宮が好きだったりする。あっちから日本を見たときに何が新しいのかが重要なんですよ。

江戸や明治の前衛的なデザインを勉強するうち、花魁にたどり着いたんです。花魁の下駄は高さ三十センチから四十センチありました。初めはその形をそのまま模して、下駄を制作しました。

そのあと、洋服と合う日本的な靴とはどんなものかと考え、プラットフォームの高い厚底靴を考案しました。重心が少し前にくるように設計してあるんです。一見すると、歩くのが難しそうに見えますが、人間ってそんなに踵を使って歩いてるわけじゃないし、ましてや走るときは殆ど踵を使わないから、意外と安定感があります。それをガガが花魁のように履いてくれているのが面白いでしょう。お客さんのなかには六十代の方もいらっしゃるんですよ」

舘鼻氏の作品はニューヨークのメトロポリタン美術館や、ロンドンの

ヴィクトリア&アルバート博物館などに収蔵されている。

「重要なのは、日本古来のものが新しく見えてしまうほど、日本人は自国の文化を知らないし、忘れてしまっているということなんです。虎屋の黒川社長が『伝統は革新の積み重ねだ』と言っていますが、守り続けることが伝統ではない。日本の伝統文化を新しい形に進化させて、世界に発信していきたいですね」

イッセイミヤケから独立

ファッションデザイナーの廣川玉枝氏（38）は一九七六年生まれ。文化服装学院を卒業後、イッセイミヤケに入社。ニットデザイナーとして経験を積んだのち、三十歳を機に独立。〇六年に自身のブランド「ソマルタ」を立ち上げた。

同年発表して話題となったのが、シームレスの全身ボディウエア「スキンシリーズ」だ。「人間の第二の皮膚」をコンセプトにした無縫製のボディウエアシリーズは、着たときに、細かい柄や編み模様が美しい陰影を形作り、女性の身体のラインを際立たせるデザインになっている（写真左頁）。

「普通のタイツより高密度で、圧縮して作っているので、繊細で緻密な図案を表現できます。こうした柄を組むのは大変で、設計するのに一カ月くらいかかるんですよ」

これが、ガガの目に留まった。

「実際にガガさんにお会いしてみると、すごくパワフルで美意識の高い、自分の考えをはっきり持った女性だと思いました。同時に女性らしい優しさも感じました。

着る服はスタッフが事前に候補を用意するそうですが、最後はガガさん本人が選ぶ。二〇一一年の来日時も、多くの服の中からスキンシリーズを選んでくれたそうです。それはクリスタルのタイプで、後日お会いしたとき、『これ本当に気に入ってるの。今度はプロモーションビデオ用に、真っ赤なのが欲しい』と注文してくれました」

東京ディズニーランドへ出かけた際も、ガガはクリスタルのスキンシリーズを着ていた。

「全身がキラキラするので、目立ったでしょうね。このボディウエア一枚で街を歩けるのは、世界中でガガさん一人だと思います（笑）。彼女は派手好きに見えますが、好きなデザインは結構ミニマル（余計な装飾をそぎ落としていること）な気がします。それを作っているのが日本人なのかも。舘鼻さんや私の作品は、人体の構造そのものをシャープに見せるという点で共通しています」

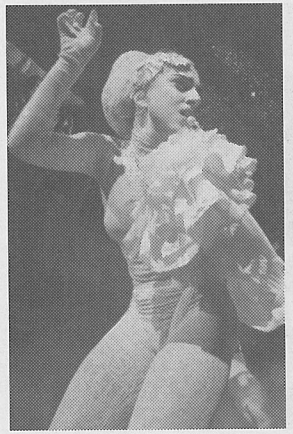
廣川氏は、日本古来のものづくりの中に服作りのヒントが詰まっているという。

「二十代の頃は西洋に対する憧れがありました。でも世界を見てから日本に戻ると、日本の伝統工芸やものづくりの素晴らしさが実感できるようになったんです。

たとえば、私は和装が好きなんですが、着物の形って平面で、小さくコンパクトに畳めますよね。すごく理に適っているし、美しい。まさに日本を代表する機能美の結晶です。

西洋の服は最初に立体ありきで、型紙をもとに、立体的に縫製しながら作っていく。でも私が携わっているニットは、平面で形を起こして、人が着たときに初めて立体になるという考え方。フラットな服が、着用したときにどう見えるかというデザインは、反物を立体的に仕上げる和装の発想に近いですね。

日本には高度なニッティング技術を持った職人さんがいますが、工場ニッティングは近代に始まったばかりで、まだ歴史が浅い。未開発な部分も多いので、技術的に無理なこともありますが、ソマルタでは現場と相談しながら、最善の方法で仕上げていきます。海外で作品を見せると、日本のニッティング技術の高さによく驚かれるんですよ」



締め切りは翌日

アルマーニに次いで、ガガの世界ツアーの衣装を初めて手がけた日本人に森川マサノリ氏（30）がいる。森川氏が注目を浴びたのは、デザイナーになってまだ二年後の二十八歳のときだった。自身のブランド「クリスチャンダダ」を二〇一〇年三月に立ち上げ、東日本大震災からひと月後に初の単独のショーを開いたが、それを見たガガのスタイリストがすぐに連絡してきた。

「震災復興支援のイベントでガガが来日するから、そのときの衣装を制作してほしいとオファーがありました。『色は黒。官能的で構築的なもの。震災後にふさわしいストーリーも欲しい』という依頼で、デザインの提出期限は三日後（笑）。東北の復興を牽引するジャンヌ・ダルクにガガのイメージを重ね、エナメルの『甲冑ドレス』を提案しました。

衣装は他のデザイナーとのコンペティションでした。選考は最後まで残りましたが、最終的には当日、ガガ自身が気分で選ぶことになってい

て。その日の朝、『たぶん着るよ』と連絡が来て、半信半疑でYouTubeで見たら、本当にガガが着てくれてたんです（笑）」

翌年も世界ツアー用に「折り鶴ドレス」を作った。腰の左右から鶴の頭が突き出したデザインには、ラミネート加工された本物の折り紙が使われている（写真右）。

「ガガはオファーするとき、いつも抽象的な写真を送ってくるんです。折り鶴ドレスを作ったときは、ペールピンクのひし形のイメージが何個か送られてきました。石油のような液体が垂れている写真がメールで届いたこともありましたね。それで『締め切りは翌日』（笑）。

送ってくるのが、どこかのブランドのコレクション写真ではないところが、突飛で面白い。自由な余白が多いのでやりがいがあります」

実家が刺繍屋だった森川氏は、大阪の上田安子服飾専門学校を卒業して就職後、英国へ留学。二年間「シャルル　アナスタス」のアシスタントとして修業し、多くを学んだ。

「服飾は、日本では工芸ですが、西洋では美術です。日本だと素材や縫製に決まりごとがあって、基本的な型と違うとダメ出しされますが、西洋はデザインの斬新さやシルエット重視で、自由な発想が歓迎されます。

でも僕らの世代はただ西洋に憧れてるだけではダメで、『和』を意識しなければいけないと思っています。両方の良さを活かしたい。海外に進出するに当っても、福井や西陣の機織技術で作られた生地など、稀少な服飾文化を伝えていけたらと思っています。原価も高騰しているし、日本の服飾市場は縮小する一方で難しいところがあります。でも欧米の市場はまだまだ広いので、世界を相手に勝負していきたいですね」

反響が全く違う

ガガの好奇心のアンテナは、ファッション以外へも広がっている。

昨年九月末、「錯視」研究の第一人者である立命館大学文学部人文学科心理学専攻の北岡明佳教授（52）のもとへ、一通のメールが届いた。

「錯視」というのは、静止画の図形が動いて見えたり、実際の形や色や大きさと異なって見えたりする目の錯覚だ。北岡教授は、その仕組みやパターンを知覚心理学の立場で研究

しながら、錯視を起こさせる作品を数多く考案。ホームページで約五千点を公開している。

メールの主は、アメリカの現代美術家ジェフ・クーンズ氏の事務所。

「あるアーティストのCDのために『ガンガゼ』という作品を使いたい」

という依頼だった。ガンガゼとはウニの一種で、この作品はウニのトゲが放射線状に広がって動くように見える。

「誰だかわからなければ、契約はできない」と返答すると、「発売日まで秘密」という条件でアーティスト名が明かされ、契約は成立した。

ガガの最新アルバム『ARTPOP』が日本で先行発売されたのは、わずか一カ月半後。クーンズ氏がアートディレクターを務めたこのCDに、『ガンガゼ』が使われていた（扉参照）。北岡教授がその意味を知るのは、学生たちから突然〝偉人扱い〟を受けたためだった。

「本の表紙やCDに使われたのは初めてではなかったんですが、反響がまったく違いましたね」

十二月には、プロモーションのために来日したガガと面会。ガガは『ガンガゼ』を採用した理由を、

「非常にパワフルな効果のあるもので、初めて見たときに脳に攻撃してくるような、訴えてくるものを感じた。まさにこのアルバムを象徴していると感じたし、私自身の性格も象徴していると感じた。私の音楽自体が好きでなくても、私の表現するひとつの形として作品を感じてもらえたら嬉しい」

と語ったという。

「私がやっているのは、『人間は目や脳を通して、どのように外の世界を認識しているか』という研究であって、アートではありません。作品は、あくまで実験の結果。しかし我々の世界で『あなたの作品はアートだ』と言われるのは、最高の褒め言葉（笑）。ガガ人気に乗って、錯視の魅力も世界中に伝わると嬉しいですね」（北岡教授）

＊

レディー・ガガに見出された「日本人の才能」。私たちが当たり前と思っている伝統の中に、グローバルに戦うヒントがあることを、ガガの美的センスと若き日本人のクリエイターが教えてくれた。

来日公演についてガガは、「音楽、ファッションとテクノロジーを混ぜたとてもエキサイティングなパーティー感覚のライブになるわ」と発言しており、本人の熱烈なオファーにより人気のアイドルグループ「ももいろクローバーZ」が前座を務めることも話題だ。今度の来日でガガはどんな新しい才能を引出し、観客を驚かせるのだろうか。

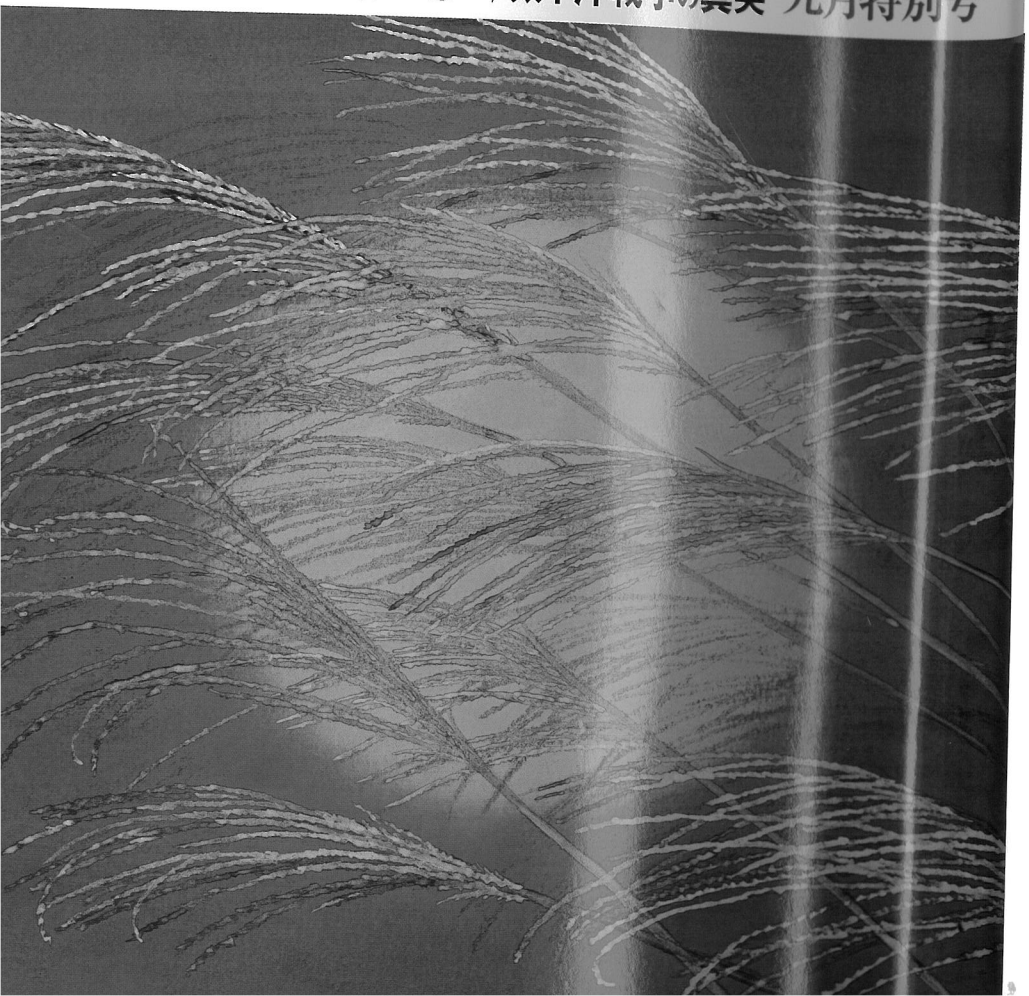
文藝春秋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
平成二十六年九月一日発行（毎月一回一日発行）
第九十二巻第十一号（八月九日発売）

芥川賞発表 受賞作全文掲載

柴崎友香「春の庭」

安倍晋三 アベノミクス第二幕へ／太平洋戦争の真実 九月特別号



文藝春秋

芥川賞発表 受賞作全文掲載

春の庭
柴崎友香

9
2014

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
平成二十六年九月一日発行（毎月一回一日発行）
第九十二巻第十一号（八月九日発売）

文藝春秋

（第九十二巻 第十一号）

特別定価九二〇円 本体八五二円

雑誌07701—9

Entered as 2nd-Class Matter at the Post Office in San Francisco, Calif., U.S.A., 2nd-Class Postage paid at San Francisco, Calif. (USPS 079-500)
"THE BUNGEISHUNJU" September 2014. Vol.92 No.11 Published Monthly by BUNGEISHUNJU Ltd. Tokyo. JAPAN

凸版印刷株式会社印刷
Printed in Japan

アリナミンAは、だる重な疲れに効く。

朝からカラダがだるい・重い。それはビタミンB1不足が原因かもしれません。そんな時こそ、アリナミンA。タケダが開発したフルスルチアミン（ビタミンB1誘導体）に加え、パントテン酸カルシウム、ビタミンB2・B6などを配合。三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）を効率よくエネルギーに変え、だるい・重いと感じるカラダの疲れをラクにしていきます。

カラダがだるい・重いと感じたら。

アリナミンA®

アリナミンA：カラダが疲れた時のビタミンB1補給、筋肉の痛みに。15歳以上1日1回、1回1～3錠食後すぐ服用。第3類医薬品

未来をもっと元気に。アリナミン60周年。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号
「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-567087 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

アリナミン 検索

4910077010948